

令和2年度第2回  
袋井市行政改革推進委員会 会議録

日時：令和2年11月13日（金） 18：00～19：30

会場：袋井市消防庁舎3階 本部員会議室

出席者：小泉祐一郎会長、豊田浩子副会長、石川春乃委員、岡本伸顕委員  
片山貴彦委員、濱岡博史委員、原野英見委員、右島学委員

事務局：副市長、企画政策課、総務課

---

<会議次第>

○協議事項

- (1) 職場アンケートの結果について
- (2) 第2次袋井市行政改革後期実施計画（素案）について

---

<会議の概要>

市の職員を対象としたアンケート結果に対して、委員の視点で組織としての対応や支援について、ご意見をいただいた。また、後期実施計画の取組項目案に対して、取り組む際のポイントや方向感についてもご意見をいただいた。

<委員の意見>

○職場アンケートの結果について

- ・無記名であれば、民間でも同じような意見がでる。きちんとした調査を行わないと実際のところは、分からない。
- ・職員がリフレッシュし、職員同士のコミュニケーションが図られる場が必要。
- ・どこの会社も内向きの仕事は多く、それが効率化を阻害している。
- ・役職毎の階層で、明確に権限移譲を進める事が効率性とガバナンス強化が図れる。
- ・新卒、既卒採用の予算を確保し、問題を打ち消しに向かうタイプの人間を選び出すノウハウを学んで実践して欲しい。
- ・子育て中の職員に対する配慮が不足している。最近では、核家族が当たり前。
- ・制度としては、職員に対する評価が分かる仕組みがチャレンジを引き出す。
- ・異動を弾力化するとスピード感が出る。また、異動で職員が育成される。

○第2次袋井市行政改革後期実施計画（素案）について

- ・横串を刺すことによって、更に業務が過重にならないか。
- ・総合計画での取組をどうやったらスリムに、シンプルにしていけるかといった優先順位付けを含めた取組をまとめるとよいのでは。
- ・BPRは非常に注目されている。ぜひ、進めて行って欲しい。
- ・PDCAに時間を取られると、革新的発想は生まれない。こればかりに傾注しないこと。
- ・セクションではなく、テーマに対して適切な人材を集めてチームでやる。更に公募制度で募ると面白い。
- ・事業スクラップは、システムではなく軽い感じで1回休止する試みから始める。
- ・市民の満足度を指標にするのはどうか、際限がないのでは。
- ・指標ではなく、いつ頃どうなるかという事が分かるロードマップを示す方が良い。